

中央ろうきん 友の会ニュース

第44回本部役員会 ならびに
支部活動報告 他

【編集】中央ろうきん友の会事務局

【発行人】古賀 紘一

【発行】2025年4月22日 No.23

第44回本部役員会「2025年度支部配賦金(案)」を承認!!

2025年度支部配賦金は昨年と同額で郵便料金補助分が加算となります!



古賀紘一会長

第44回中央ろうきん友の会本部役員会は2025年4月3日、埼玉県長瀬の長生館会議室において開催され、全議案は出席役員の総意で承認されました。

役員会は、議事に先立ち古賀紘一会長の挨拶があり、続いて来賓の中央労働金庫事業推進部橋本正弘次長よりご挨拶をいただきました。

議事は、古賀会長の議長のもと、はじめに事務局より、2024年度友の会会員数、2024年度上期本部会計報告について、正会員数の大幅な減少に一定歯止めがなかったことなどの報告が行われ、質疑の後、確認されました。

■2025年度支部配賦金は
昨年度と同額とし、郵便料金
補助分が上乘せとなります!

その後、協議・検討事項に入り、「2025年度地区本部・支部配賦金の決定について(案)」は事務局より、2025年度の支部配賦金については、第16回本部総会で2024年度と緩和措置を含めて同額とすること、郵便料金上げを受けて補助金として正会員一人当たり50円を正会員基準(一人当たり160円)に

加算することが承認されたことから、支部ごとの配賦金につき討議の後、承認されました。

店舗統廃合等に伴い支部が統合される場合、存続支部には2年間に限り被統合支部の一律配賦金を配付します。

支部配賦金は、7月開催予定の本部役員会で暫定予算案の確定後7月10日頃に各支部に振込予定です。

■2026年度以降の
支部配賦金について!

2026年度以降は、物価上昇が続く郵便料金値上げによる負担も大きくなっています。よって、2025年度に加算した正会員一人当たり50円に更に10円加算して220円を基準とし制度化する方向で検討していきます。なお、2026年度から旧基準に基づく配賦としてきた17支部を含めて全支部同基準による配賦となります。

■会員拡大に向けた取り組み
ホームページの活用を協議

労働金庫からの「2025年度友の会との連携取り組み」の提案、茨城地区でのキャンペーンの取り組みと成果の報告などを受けて、友の会としての連携方法につき協議をし、具体的な連携内容は本部で統一とはせず、地区本部と労金の都県本部で地域事情にあった取り組みで会員拡大を進めていくことが確認されました。

また、会報に加え、ホームページを多くの支部で活用していくことを確認しました。

■支部会報コンクールを
実施します!

(募集作品) 2024年7月1日から2025年6月30日の間に発行した会報・ニュースで1点を対象とする。

(応募方法) 中央ろうきん営業店の友の会担当者経由で友の会本部事務局に送付する。



橋本正弘事業推進部次長



第44回本部役員会 (長瀬長生館)

第13回新任支部会長研修会開催

■出席者全員での意見交換では財政課題、役員の継承、会員との連絡手法、労金との連携、会員拡大などについて意見が交わされました

第13回新任支部会長研修会が新任会長10名の参加を得て2024年11月22日に東京ガーデンパレスで開催されました。

研修会は、高橋副会長の開会挨拶、中央労働金庫橋本事業推進部次長の挨拶の後、古賀会長より「支部会長の皆さんへ」と題した講話、芦沢事務局長より「友の会の組織と運営」、植木事務長より「友の会の財源」について説明があり、その後の意見交換では支部の状況などを踏まえていろいろと意見が交わされました。研修会の最後は「中央労働金庫からのご要請について」と題して事業推進部橋本次長の講話があり、小林副会長の閉会挨拶をもって終了となりました。

その後、懇親会で交流を深めました、参加者の皆様のご協力で充実した研修会となりました。いただいたご意見等を今後の運営に活かしていきます。



友の会本部からのお知らせ！！

提携先団体等との意見交換会を開催

第3回提携先団体等との意見交換会を5年ぶりに2月18日に日本教育会館内で開催しました。

提携先等からは8団体各1名の参加をいただき、友の会の今年度の取り組みの報告と各団体の近況・活動紹介などがあり、友の会三役との意見交換を通じ交流を深めました。

今後提携先の拡充に努めますのでご利用をお願いします。

友の会本部では事務の電子化・キャッシュレス化をしました

クレジットカードの作成で立替払いの減少、インターネットバンキングの活用として、納税・労働保険の払込などを電子化し、諸費用の振込はインターネットバンキング利用としました。また、喜寿祝金や配賦金・災害支援基金からの義援金の振込など支部・地区本部への振込をデータファイルでのインターネットバンキング処理に全て変更しました。

支部において立替払い・来店による振込などの解消・削減のためにインターネットバンキング、法人カードの作成などを希望する場合は中央ろうきん営業店にご相談ください。

ご協力いただきました関係者の皆さまに心より感謝申し上げます
2025年も取組みを行いますのでご協力をお願いいたします

2024年度 災害支援基金 協力先一覧 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(注)振込順に記載

星川支部	41,182	成田支部	5,000	柏支部	5,000	津田沼支部	15,000
朝霞支部	10,000	上尾支部	10,000	成東支部	5,000	茨城地区本部	10,000
狭山支部	17,230	木更津支部	10,000	館山支部	10,000	群馬地区本部	50,000
高崎支部	30,000	市川支部	5,000	野田支部	20,000	埼玉地区本部	20,000
松戸支部	5,000	銚子支部	5,000	大手町支部	10,000	栃木地区本部	10,000
桐生支部	20,000	茂原支部	10,000	千葉支部	20,000	千葉地区本部	20,000
						本部	500,000
						合計	878,412

※複数回協力いただいた地区本部・支部は合算金額で記載しています。

支部の活動紹介コーナー

荒波打ち寄せる東端の街、銚子！

千葉県本部 銚子支部

大吠埼灯台、君ヶ浜、そして屏風ヶ浦と風光明媚な街銚子、漁業にキャベツと温暖で住み良い銚子ですが残念ながら市民の数は年々減少しています。そして足並みを揃えて銚子支部友の会会員も年々減少し2025年1月末現在の会員数は1302名と細身になってきました。今一番の悩みの種です。

会員拡大に向けて、友人・知人等による紹介活動を行っています。また労組等に働きかけ会員獲得に努めています。

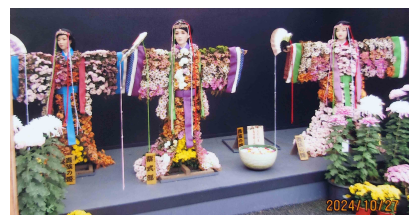
会員の親睦を深める為、毎年総会兼親睦旅行を行っています。2024年10月1泊2日の日程で福島県奥飯坂原温泉に行きました。この親睦旅行は人気抜群で瞬間に締切りとなつてしまします。



奥飯坂原温泉「吉川屋」にて



二本松城少年隊群像



二本松 菊人形

今回の参加者は42名でしたが、バスの中は往路復路それぞれ皆さんカラオケで自慢の喉を競って披露、最高！日本一だよ！と華やかな嬌声の嵐となりました。

二本松の菊人形を見学しました。出展者の菊に対する情熱が伝わって感動、癒される一時でした。

サークル活動は歩け歩きの友歩会、ゴルフ、カラオケと会員の親睦を深め魅力あるサークル活動を通して少しでも会員減少に歯止めを掛ける事が出来ればと願って頑張り楽しんでいきます。銚子のうんめえ魚を食いにきらっせよ 待つてっから”

銚子支部

事務局長 石毛 正一

皆が楽しめるイベント交流企画・支部活動紹介！

東京地区本部 池袋支部

当支部は、豊島区・練馬区と新宿区・北区の一部で構成し、会員数は2024年9月現在、2,297名（正会員979名。利用会員1,318名）です。イベントを企画する際は、より多くの会員が参加してもらえるようなことを支部役員で考えております。

直近では、バス旅行を開催しました。アクアラインを経由して外房方面に向かい、海鮮焼きバイキングとミカン狩りを楽しみました。支部総会については明治座の食堂で開催し、総会終了後に「梅沢富美男と研ナオコ特別ショー」の観劇鑑賞を行いました。



房総方面へのバスツアーより「なぎさの棧橋」にて記念撮影



バスツアーの帰り道で「海ほたる」

どの企画もまたたく間に募集人員に達します。過年度では帝国ホテルのビッフェを堪能した後に宝塚劇場での鑑賞という豪華企画もありました。今後についても、より多くの会員が楽しめるイベントを企画していきます。

コロナ禍以前では、研修会や学習会などのイベントも行っておりましたが、直近のイベントでは企画できておりませんので、こちらにも力を入れていきます。友の会ホームページで池袋支部のイベントを紹介しておりますので、そちらもご覧下さい。

池袋支部

会長 小塩 吉喜

中央ろうきん友の会提携先（友の会ホームページをご参照ください）

新橋演舞場



劇団前進座



尾瀬高原ホテル

◆ろうきんUC クレジットカード
お申込みのことなら
(株)労金カードサービス

◆不動産・相続のご相談
カタログギフト購入のことなら
(株)勤労者サービスセンター

◆友の会
ホームページ



支部の活動紹介コーナー

友の会大船支部のご紹介！

神奈川地区本部 大船支部



春の日帰りバス旅行
千葉県「長福寿寺」にて



秋の日帰りバス旅行
埼玉県「渋沢栄一記念館」にて

4年余りにも及ぶ新型コロナウイルス騒ぎの長いトンネルの闇を抜けて、大船支部の活動の動きもようやく円滑になつてきました。

その時を待っていたかのようには、会員の皆さんは「出かけるよ」と旗を振ると台風の余波も降雨もモノともせず、イベント再開を心待ちにしておられて参加してくださいます。

大船支部の母体である大船支店の歩みを振り返ると、当地における労金の存在感の大きさがよくうかがえます。

と言うのは、鎌倉、大船、戸塚地区に所在する労組の労金との取引は、本店が今の賑わい座（桜木町）近くにあって、そこから職員が週に1度程度来てくれるか横浜乗換で

桜木町までこちらから出向かなくてはなりませんでした。したがって、必然的に「大船方面に支店を開設して」との要望が沸き立ってきた折、幸いにも個人宅の古家が売りに出しており、その物件を取得し改装して開設したのが大船支店の始まりです。

現在の友の会大船支部は役員チームワーク、会員間の親睦度もすこぶる良好です。生産拠点の工場や事務所は都心のベッドタウンと位置付けられる大船地区から移転して、も、労金を支える大小の組合は健在です。このままの組織をいつまでも持続できれば良いなあと願うこと切、です。

大船支部
会長 本多 淳一

バス旅行で会員相互の親睦を！

東京地区本部 田無支部



2023年6月「筑波の旅」
メロンの森集合写真



2024年3月「中伊豆の旅」
ワイナリー集合写真



2024年11月「沼田の旅」
酒造見学の様子

田無支部は西東京市・東久留米市・清瀬市・東村山市の会員で構成し正会員数は2024年6月末現在1,001名となっています。

支部役員は8名体制で年間の活動は、年2回の日帰りバス旅行（11月・3月）をメインに実施し会員相互の親睦を図っています。バス旅行は人気があり、毎回、募集人員の40名を超える申し込みがあるため、抽選により参加者を決めています。

役員会は9月・1月に開催し、主に旅行会社から提案された企画案を検討し行先を決めています。

9月の役員会では11月のバス旅行の検討と、旅行時に開催する「支部総会」の議案書の内容を確認しています。

また、田無支店全体会議には会長が出席し、支店の活動計画の各種施策を共有しています。

2023年度は、3月に「中伊豆バスの旅」を実施し、ワイナリーでの試飲や日本庭園のある老舗割烹での昼食。沼津グルメ街道での買い物を楽しんでいただきました。

5月には劇団前進座からお声かけをいただき、支部役員研修として池袋ブリリアホールで開催された、舞踊「雪祭五人三番叟」と歌舞伎「鳴神」を初めて観劇しました。

2024年度は、11月に「深秋の群馬を満喫するバス旅行」を実施し、バス内で「支部総会」を開催するとともに、沼田市にある酒蔵見学やりんご狩りを楽しんできました。

今後も安全に配慮し、楽しいバス旅行を通して会員相互の親睦を図って行きたいと思っています。

田無支部
会長 筑井 久雄

スマホでお金の管理が簡単に！

ろうきんアプリ

- 残高・入出金明細をいつでも・どこでも確認可能
- スマートフォンが通帳代わりになる
- ローンや資産運用などの相談・予約ができる

リアルタイムで口座残高や入出金明細の照会ができる！

カードの引き落とし額や給与の振込額も、気になったときにいつでも・どこでもご確認ください。

主な取扱いメニュー

- 残高・入出金明細照会
- ろうきんダイレクト（インターネットバンキング）へのログイン
- QRコード決済
- 税公金支払い
- Web お知らせ
- 住所変更
- 相談・予約
- Money Forward かんたん通帳 など



アプリならもっと便利に！



詳しくは
こちら



お問合せ・ご相談は



<中央ろうきん>
各支店まで

2025年4月1日現在